

平成30年度 伏虎義務教育学校 学校運営計画書(スクールプラン)

別紙3

校長名 林 素秀

作成日 平成30年 5月1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ・義務教育の修了時に自分の生き方をしっかり考えられる人になってほしい。
- ・何事にも主体的に取り組む力をつけてほしい。
- ・自分の住む地域を知ってほしい。
- ・学校からのお便りやHPを充実させてほしい。

【学 校 教 育 目 標】

心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成

【めざす子供像】

心豊かで、思いやりのある優しい子供
進んで学び、しっかり考える子供
健やかに、たくましく生きる元気な子供

前年度の学校評価

- ・子供は落ち着いて、学校生活を送ることができている。
- ・道徳を充実させて、豊かな心を持った子供を育ててほしい。
- ・Ⅱ期(5・6・7年生)の活動を活発にしてほしい。

子供の実態

- ・時間を守って行動できている。
- ・優しい子供が多い。
- ・主体的に学習に取り組む姿勢が弱い。
- ・話し合い、意見をまとめる力が弱い。
- ・テレビ等の視聴や携帯電話の使用時間が長い。
- ・地域行事への参加する子供が少ない。

重点目標

進んで学び、しっかり考える子供

- 確かな学力の向上
- 言語活動(ことばの力)の充実
- 「わかやま創造科」の創設
- 外国語教育の充実
- 理数教育の充実

心豊かで、思いやりのある優しい子供

- 体験活動の充実
- 道徳教育・人権同和教育の充実
- 自主的・実践的活動の推進

健やかに、たくましく生きる元気な子供

- 特別支援教育の充実
- 健康安全教育の推進
- キャリア教育・進路指導の充実

地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携充実
- 地域資源の活用推進
- 地域行事やボランティア活動への参加

具体的な取組

- 全教職員が参加する研究授業・研究協議の行い、具体的実践を相互に参観・協議することで学校全体の授業力を高める。
- 学校図書館の整備を進め、図書館を核にした読書活動計画を策定し、学校全体で読書活動を推進する。
- 「わかやま創造科」を通して、主体的に学ぶ力、協働的に学ぶ力、探究的に学ぶ力を養い、自分の生き方を考え、自分の豊かな姿を創造し、未来を切り拓く力を持った児童生徒を育成する。
- 1年生から、外国語活動を導入し、9年間を貫く系統的な「外国語教育」を教育課程に位置付ける。また、モジュール学習を取り入れ、外国語に慣れ親しむ機会を増やす。
- 算数・数学科において、TT指導や少人数指導を導入する。科学的、論理的なものの見方や考え方の基礎を養い、思考力、判断力、表現力を育む「理数教育」の充実に取り組む。
- 電子黒板等のICT機器の有効活用を進める。

- 美しい自然や文化芸術に触れる体験活動を計画的に取り入れ、感動する心や豊かな心情を養う。
- 子供の交流を、学年・異学年に広げ、子供が主体的に活動できる魅力ある学校行事を通じて、自己有用感の育成・向上に努める。また豊かな人間関係を構築し、人権を尊重する態度を育てる。
- 全校一斉掃除を通じて、勤労の喜び、協働の大切さ、謙虚さなど、力をあわせてひたむきに生きることの大切さを身につける。
- 児童生徒会の活動を通じて、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。
- 部活動を通じて、スポーツや文化に親しむ機会を広げ、互いに協力する人間関係を育み、心身の成長をはかる。

- 子供の個性を全教職員で共通理解し、連続性と一貫性のある特別支援教育の充実に取り組む。
- 規律ある教育環境を整え、子供が自らを律する力を高める。
- 子供の体力状況を把握し、教育活動全体を通じて、体力を高める指導を計画的に実践する。
- 食育を通して、生涯にわたって健康や安全に留意できる態度や素地を養う。
- 子供が希望をもって、未来を切り拓いて生きていくことができるように、義務教育を貫く組織的・系統的なキャリア教育を推進する。
- 地域における様々な職業人と関わる機会を積極的に設けるなど、将来の生き方に対するモデルを提示する。

- 各種便り、HPを通して積極的に学校の情報を発信する。
- コミュニティスクールと連携し、地域人材の活用を進める。
- 地域で開催される行事やボランティア活動への参加を促し、公共心を高める。

指標

- 毎日の勉強がわかる。(前期児童90%)
授業は楽しく分かりやすい。(後期生徒90%)
- ◆読書が好き(前期児童・後期生徒75%)
- ◆話し合いを通じて考えを深め広げる。(前期児童・後期生徒65%)

- 学校が楽しい。(前期児童・後期生徒95%)
- 私はそうじを一生懸命している。
(前期低学年児童95%)
みんなそうじを一生懸命している。
(前期高児童・後期生徒85%)
- 誰にでもあいさつができる。(前期児童90%)
みんな気持ちいいあいさつをしている。
(後期生徒85%)

- 学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。
(前期・後期保護者90%)
- 学校は、将来の進路や職業について適切に指導している。
(後期保護者90%)

- 学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。
(前期・後期保護80%)